

令和2年度 授業改善に関するカリキュラム・マネジメントリーダー研修 成果報告書

校長・准校長サイン

名前

学校名 府立河南高等学校

名前

1 学校教育目標（めざす生徒像）

「未来を見据えて、自ら目標を定めて、挑戦する生徒を育てる」

2 令和2年度の校内研究の取組み

(1) 研究テーマ及び設定理由

①研究テーマ

「考える力をつけさせる授業づくり」

②テーマ設定理由

前向きにチャレンジすることや、主体性を持って行動するようになるためには、まずは何をすべきなのか考えることが必要不可欠であり、河南高校の生徒に身につけさせたい力の一つであるとPTメンバーで考えたため

(2) 校内研究の取組みについて

①研究の基本的な考え方・全教職員で共通理解したこと（明確化した今年度のポイント）

個々に取り組むのではなく、学校全体で授業改善をしていく必要があるということ

②具体的な取組み

・全教員による研究授業・研究協議

教員を8つのグループ（各グループ8名程度）に分け、各グループの代表者が研究授業を行い、その他のメンバーが授業を見学する。

→授業の空き時間に見学できるように時間割を考慮してグループ分けを行うことで、ほぼすべての教員が見学することができた。

放課後、グループごとに研究協議を行い、意見交換を行う。

→研究授業の様子を動画で撮影したことにより、研究協議の時に見返しながら協議を行った。

→「考える力をつける」授業というテーマに基づいて、「生徒の実際の姿」に基づいて、協議を行ったことで、話題がぶれなかった。

・全体研修（外部講師（京都大学 石井准教授、センター指導主事）による講演）

「考える力をつける」を着眼点とし、授業中の生徒の姿をもとに、8グループの取組みを振り返った。

→研究授業実践者から、研究授業の「考える力をつける」場面を動画で示したうえで、研究授業の概要と研究協議で議論された内容を発表した。そのうえで、「考える」とは

どのような場面で起こるのか、生徒がどのような姿になっていることなのかを、改めて全体で議論した。

→石井准教授から、研究授業月間全般に対する指導助言及び新学習指導要領をふまえた授業づくりや評価についての講演を聞き、現状の河南高校の課題や今後必要になってくることなどについて、教員間で共通認識を持つことができた。

### ③取組みの検証方法

- ・校内研修アンケート
- ・学校教育自己診断
- ・R2年度授業アンケート
- ・PTメンバー向けアンケート

## 3 取組みの検証

### (1) 校内研究の成果

#### ①校内研修アンケート

「生徒の学びにつなげるには学校全体で授業改善を行う必要があると理解ができた」：約90%

「生徒の姿をイメージしながら指導方法を考えることが重要であると理解を深めることができた」：約80%

「今年度のテーマに向けての取組みは興味深いものであった」：約80%

→教員のほぼ全員が、納得して授業改善に取り組むことができたことが伺える。

②学校教育自己診断における生徒向けの「全体的に授業がわかりやすい。」という項目において、昨年度と比べて5%上昇した。生徒向けの「先生の教え方には、さまざまな工夫がなされている。」という項目において、昨年度と比べて4%上昇した。

③R2年度授業アンケート結果の全体平均が3.26に上昇（R1年度3.19）

→「考える力をつける」授業に対して、河南高校の教員が組織的に取り組んだ成果であると考えられる。

#### ④PTメンバー向けアンケート結果

チームメンバー全員が来年度も参加を希望と回答

→今年度の取り組みが「やりがい」に満ちたものだったということが伺える。

### (2) 生徒の変容（授業改善により生徒にどのような育ちが見られるか）

研究授業後の生徒向けアンケートの中で、授業の中には様々な考える場面があるということに気付くことができたといった意見が多く、これまであまり意識していなかった「考える」ということに挑戦してみようという姿勢が見られた。

### (3) 教員の変容（授業改善により教員が何を学んだか・どんな感想をもったか）

生徒の学びにつなげるには学校全体で授業改善を行う必要があると理解ができたという意見が多く得られた。また、生徒の姿をイメージしながら指導方法を考えることが重要である

と理解を深めることができたという意見も非常に多かった。

#### 4 今後に向けて

##### (1) 今年度の課題

継続的な授業力向上に向けた取組み

- ・年度ごとの取組みにしてしまうのではなく、継続的に行っていく必要がある。
- ・経年変化をとらえることができるように、アンケートなどの項目の工夫が必要である。

新学習指導要領に向けての授業改善

- ・校内研修後のアンケートで、新学習指導要領へ向けて取り組む意識が低いといった結果が出ており、次年度の課題である。

##### (2) 次年度に向けて

- ・研究授業・研究協議は今年度の課題を改善した上で継続して行う。
- ・新学習指導要領の教員全体の理解度の向上と新学習指導要領に向けての授業力向上
- ・今年度以上に学校全体で取り組めるようめざす。

令和2年度 校内研修年間実施報告

1 令和2年度の目標(テーマ・主題)

新教育課程・新学習指導要領改訂を踏まえて、本校では「未来を見据えて、自ら目標を定めて、挑戦する生徒を育てる」授業に向けた、「授業力向上」を学校全体で組織的に図る。

2 実施日・内容等

月	日	校 内 研 究 の 実 際	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	上旬	授業力向上 PT 発足	左記の内容を職員会議にて事前周知
6	下旬	第1回 授業力向上 PT 会議 ・メンバー確認 ・今年度の目標や日程の確認	
7	下旬	第2回 授業力向上 PT 会議 ・9月公開授業に向けた打ち合わせ ・公開授業のグループ分け	
8	上旬	第3回 授業力向上 PT 会議 ・研修テーマの決定、アンケートについて	
9	上旬 中旬 下旬	第4回 授業力向上 PT 会議 ・研究授業、研究協議役割と内容決定 グループによる公開授業 授業後、グループごとに研究協議 第5回 授業力向上 PT 会議 ・研究授業、研究協議振り返り	9月の公開授業詳細を職員会議で連絡
10	上旬 中旬	第6回 授業力向上 PT 会議 ・全体研修の打ち合わせ	全体研修
11	中旬	第7回 授業力向上 PT 会議 ・今年度総括と次年度に向けて	

令和3年度 校内研修年間計画

1 令和3年度の目標(テーマ・主題)

新教育課程・新学習指導要領改訂を踏まえた上で、未来を見据えて、自ら目標を定めて、挑戦する生徒を育成する。

2 年間予定

月	日	校 内 研 究 計 画	
		研究推進委員会 等	教職員全体研修会 等
4	上旬	授業力向上 PT 発足	左記の内容を職員会議にて事前周知
	中旬	第1回 授業力向上 PT 会議 ・メンバー確認 ・役割決定 ・今年度の目標やテーマ、日程の確認	
5	上旬	第2回 授業力向上 PT 会議 ・研究授業・研究協議方法について検討 ・全体研修内容の決定	
6	上旬	第3回 授業力向上 PT 会議 ・研究授業・研究協議方法の決定、アンケート作成	研究授業、全体研修詳細を職員会議で連絡 研究授業者の募集
8	下旬	・研究授業者の決定 ・授業力向上 PT と授業者による打ち合わせ	
9	下旬	第4回 授業力向上 PT 会議 ・全体研修の打ち合わせ	
10	中旬		全体研修
11	中旬	第5回 授業力向上 PT 会議 ・今年度総括と次年度に向けて	